



アーティスティックス通信

ホームページ
成功法則

今月のホームページ成功のポイント

パッと見でわかる、「ツカキキャッチ」

みなさんはホームページを見て他のホームページを見るまでにどの程度の時間をかけていますか？

一般的に、およそ半数の人が8秒間でそのホームページから離脱してしまいます。逆に考えれば、ホームページ運営側としては最初の8秒間が勝負です。



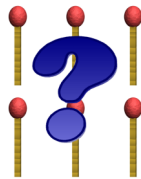
では具体的にどうすればいいのか？

一つの方法として**アイキャッチ**があります。ページの3割ぐらいのスペースを30文字以内でまとめるとわかりやすいです。アーティスティックスでは、キャッチは「一言・二桁・三つまで」が合言葉です。

また、ツカキキャッチの中には、具体的な数字や内容(実績数や価格、受賞履歴など)を入れていくと、さらに目を引くページになります。

<< ちょっと頭の小休止 >> 出題：内野光一郎

今月号から、突然ですがクイズを出題する事になりました。(パンパカパーン!) 初の第1問目としては、マッチ棒クイズを出題します。右記イラストのようにマッチ棒が6本あります。このマッチ棒を折る事無く、正三角形を4個作ってください。



正解はアーティスティックスのホームページ→アーティスティックス通信(サイドバナーからアクセス)のページ下部に記載致します。

顧客管理
営業管理

クラウドを活用した顧客管理

「顧客管理はTodo管理から」

導入費用も運用コストも安く、小規模事業者向けのクラウドですが、どんな分野に活用したらいいのでしょうか？今の時代、経営をさらに伸ばすためには、売り上げアップかコストダウンになるもののどちらかに投資するのがいいです。顧客満足度アップという重要な目的もありますが、その結果は、やはり売り上げという形でバックされてきます。そういう観点から、営業部門にクラウドを導入して改革することをお勧めします。

私がよく引用する話しなのですが、昔はこんなことがよくありました。

「長岡さん、今度、うちの〇〇について、相談に乗ってよ。いつでもいいからさあ」この、「いつでもいいから」が曲者です。スケジュールが決まっていないと手帳に書き込みません。



すると、「長岡さん、そりゃたしかに、いつでもいいとはいったよ。でも、2ヶ月もほったらかしは無いですじゃない？」これでは、お客様の信用はがた落ちです。

話しをしたこと、これからやるべきことなど、お客様の情報をすべて一元管理します。誰でもそこを見れば、お客様のすべてがおかるようにします。

そして、お客様とお会いするときは、必ず情報を見て対応します。そのためにモバイルを活用するのが、中小企業のクラウド活用のポイントです。ぜひ、クラウドを活用して仕組み化することをお勧めします。

アーティスティックス スタッフの今月のひとこと



最近、犬を飼い始めました。名前はハンマンの8歳ぐらいの中型の雑種です。か〜わいいんだな、これが♡



加藤です。静岡人になって3ヶ月が経ちました。まだ、「〜ら」の使い方がわかりません。加藤です。加藤です。加藤です。



つっちーです。髪の毛をバリカンで刈りました。社内のみんなが毛が薄いところをガン見してきます。とても切ないです。



内野です。さいきん絵を勉強したいと思っています。とりあえず道具をそろえてみようかなー



梶です。夏風邪で一週間ダウンしていました。歳を重ねるとに体調管理が難しくなりますね。



坂本です。最近自社で将棋が流行っています。自分もルールを覚えようかと思っています。

アーティスティックス主催セミナー・IT活用塾 今後の予定

- 9/18 (水) 【富士市】「ホームページ活用成功法則1 3連発」他社事例紹介&体験ミニセミナー
- 9/26 (木) 【弊社開催】 ホームページ応援隊 活用操作勉強会 ※ご契約者様限定
- 9/27 (金) 【沼津市】「ホームページ成功法則を学び、自分で更新してみる」体験ミニセミナー
- 10/3 (木) 【沼津市】 **New!! 成約率倍増の仕組みを作る！社長のための営業改革セミナー**※参加者募集中！！
- 10/16 (水) 「ホームページ成功法則を学び、自分で更新してみる」体験ミニセミナー
- 10/24 (木) ホームページ応援隊 活用操作勉強会 ※ご契約者様限定
- 10/24 (木) 「ホームページ成功法則を学び、自分で更新してみる」体験ミニセミナー
- ※詳細につきましては弊社ホームページのセミナー情報ページ (<http://www.artistics.co.jp/itkatsu/>) をご覧下さい

行き詰るのは行き詰るような

もの見方をしているからだ。

行き詰らないような

見方をすれば行き詰らないのだ。

松下幸之助